

レファレンスだより 2017年5月号 No.174

福岡市総合図書館 図書サービス課 相談係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報誌です。

■レファレンス受付件数（2017年2月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
40	1480	406	315	400
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
463	58	722	1234	5118

（開館日 23日 一日平均 223件）

今月の特集！

サザエさん通り ウィーク

5月21日(日)～27日(土)

「サザエさん通り」ってなあに？

「サザエさん」の作者である長谷川町子さんは、幼少期、戦中戦後を福岡で過ごしました。福岡市そして早良区は、サザエさんが生まれ育ったゆかりの地であり、長谷川町子さんとの関わりが深いまちです。

「サザエさん通り」とは福岡市早良区の脇山口交差点から、シーサイドももち海浜公園入口までの道路約1.6キロの通りです。

長谷川町子さんが、昭和20年頃に百道の海岸を散歩して、サザエやカツオなど登場人物の名前を発案したことを記念して命名されました。

平成24年5月27日に誕生した「サザエさん通り」を記念して、毎年5月27日を含む1週間を「サザエさん通りウィーク」としています。

総合図書館で読める「サザエさん」

『サザエさん 全45巻（別冊2巻）』朝日新聞社
『長谷川町子全集 全33巻（別巻1冊）』朝日新聞社
『対訳サザエさん 全12巻』講談社イタナショナル

総合図書館で読める 長谷川町子さん関連本

『長谷川町子思い出記念館』朝日新聞社
『サザエさんうちあけ話・似たもの一家』朝日新聞社
『サザエさん旅あるき』朝日新聞社

総合図書館で読める サザエさん関連本

『早良区サザエさん通り誕生記念 食育レシピ集』
（幼児期・子ども期向け／若者期向け）
早良区保健福祉センター健康課
『サザエさんをさがして 全5巻』朝日新聞社
『サザエさんからいじわるばあさんへ』ドメス出版

★★★総合図書館のイベント★★★

企画展示(1F)

5/3(水)～5/30(火)

サザエさんの漫画や、サザエさんにちなんで、海に関する本を展示しています。



Pepperとサザエさんかるた遊び

サザエさん塗り絵大会

(1Fエントランス)

5/28(日) 11:00～16:00

※この日はサザエさんと

マスオさんがやってきます！



こんな質問がありました！

Q：作家・宇野千代の家に同居して身の回りの世話をしていた女性が書いた文章が読みたい。名前はわからないが、宇野千代の文章に「〇〇ちゃん」というふうに出てきていた。（人文科学）

■「件名：宇野千代」で所蔵資料を検索

『宇野千代 女の一生』（宇野千代 ほか／著 新潮社 2006年）分館所蔵

「先生との36年 藤江淳子」というコラムがある。内容を確認すると、昭和35年から36年間、宇野千代の家に住んでお世話をする仕事をしていた女性による文章だった。

『宇野千代の世界：決定版』（ユーリーグ 2006年）分館所蔵

「藤江淳子が語る「うちの先生」というコラムが載っている。「公私にわたって約40年、宇野千代と生活をともにした秘書の藤江淳子さん」という記述がある。

■国立国会図書館サーチで「藤江淳子」のキーワードで検索

『婦人公論 1996年10月号』閉架書庫

「宇野千代と歩いた花吹雪人生 36年」というタイトルで、藤江淳子による文章がある。「ふじえあつこ」と振り仮名がついていて、肩書は「宇野千代・秘書」となっている。

『文藝春秋 2008年2月号』閉架書庫

「ドキュメント見事な死」という特集の中のひとつに、「宇野千代「幸福」の二文字」という藤江淳子ふじえあつこによる短い文章がある。肩書は「株式会社宇野千代 代表取締役」となっている。宇野千代が彼女のことを「あっちゃん」と呼んでいたこともわかる。

■ネット情報

「NPO宇野千代生家」のホームページで藤江淳子が紹介されている箇所がある。

（千代の「娘」淳（あつ）ちゃん＜宇野千代の人生と文学＞宇野千代のこと＜ホーム）

http://www.unochiyoseika.jp/content/unochiyo_23.html

Q：爆弾と焼夷弾の違いが図でわかりやすく書いてある本はあるか。（社会科学）

■爆弾についての資料

『日本大百科全書 18』（小学館 1994年）2階C1 R031/二

爆弾の解説とともに内部構造が図で紹介されている。解説文には「（略）特殊爆弾には焼夷弾、毒ガス弾、細菌弾、発煙弾、照明弾、時限弾などがある。」との記述がある。

■焼夷弾についての資料

『福岡大空襲展：あれから40年』（朝日新聞東京本社企画第一部、朝日新聞西部本社企画部／編

朝日新聞東京本社企画第一部 [東京] 1985年）閉架書庫 219.1/7

焼夷弾の内部構造や落下状況について、図入りの解説が載っている。

福岡大空襲の語り部活動をされていらっしゃる方、総合図書館には写真や証言集などたくさんの資料を所蔵しています。ぜひご利用ください。



Q：虹の色の呼び方が知りたい。英語でどういふのかも知りたい。（自然科学）

■事典で調べる

『色の百科事典』（日本色彩研究所／編 丸善 2005年）2階 C13 R757.3/1

光の屈折によって虹が見えるメカニズムが解説されている。ニュートンは虹の色を赤（red）、橙（orange）、黄（yellow）、緑（green）、青（blue）、藍（indigo）、堇（violet）の七つの色名で表わしたとある。

■図書資料

『自然がつくる色大図鑑：地球・星から生き物まで（楽しい調べ学習シリーズ）』

（福江 純／監修 PHP 研究所 2013年）1階子3 42/㉙

虹の色ができるしくみを、図を交えてわかりやすく説明している。また、色の数を6色や5色と考える国もあること、ニュートンが音階の数を意識して7色とし、日本でもその考えが広まったことが書かれている。

『<図説>虹の文化史』（杉山 久仁彦／著 河出書房新社 2013年）

2階 E7 451.75/ㄱ

古代から現代まで、人類が虹について研究してきた様々な説が紹介されており、色の捉え方も様々であることがわかる。参考文献も多く挙げられているので、さらに深く調べるのにも役立つ。



Q：博多祇園山笠について英語で解説したのを見たい。（国際・国連）

■図書資料

『Faces of Fukuoka』（Chris Flynn／著 西日本新聞社 1999年）2階 A20 F100ENG/291.91/FL

実際に山笠に参加した著者の眼で、山笠の行事、決まりなどが記述されている。

『Hakata： the cultural worlds of northern Kyushu』（Andrew Cobbing／編 Brill 2013年）

2階 A20 F809ENG/219.1/HA

第10章に Tim Cross 氏による「Staging the Local and Sacramental：Yamakasa as New Noh」という論著があり、山笠と能との関連性が論じられている。

■論文

Tim Cross/著 「Fictocritical Hakata：Yamakasa Ethos as Corporeal Tradition」

（『福岡大学人文論叢』第39巻第3号（通巻第154号）p.581-629 2007年12月） 2階 C15

博多祇園山笠の起源や歴史、祭りの行事・決まり事などを紹介している。

■その他

『Kokusai Hiroba』（（公財）福岡県国際交流センター）1996年 SUMMER（通巻28号）

『Rainbow』（（公財）福岡よかトピア国際交流財団）2000年7月号（通巻201号）

『Rainbow』（（公財）福岡よかトピア国際交流財団）2002年6月号（通巻212号）

『Rainbow』（（公財）福岡よかトピア国際交流財団）2006年7月号（通巻261号）

博多祇園山笠の関連記事がある。

日本語で書かれた博多祇園山笠についての資料は、

2F 郷土・特別資料室や1F ふるさとコーナーにあります。



※「2階C1」などと表記しているものは総合図書館の棚番号です。また、「813.1」などと表記しているものは分類番号で、数字の左にRが付いている資料、郷土資料は貸出ができませんので、館内でご利用ください。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今の一冊！

『歴史学事典』全16巻

(尾形 勇・加藤 友康／編集委員 弘文堂 1994～2009年) 2階C10 R203.3/1

20数年をかけて完結した、この歴史学の事典は他に類を見ない、特徴的な構成になっています。各巻タイトルを第1巻から順に見ていくと「交換と消費」「からだと暮らし」「かたちとしるし」「民衆と変革」「歴史家とその作品」「歴史学の方法」「戦争と外交」「人と仕事」「法と秩序」「身分と共同体」「宗教と学問」「王と国家」「所有と生産」「ものとわざ」「コミュニケーション」、第16巻は総索引です。各項目には関連項目や関連文献も付されています。

歴史上の事柄は一つの国や時代に収まるものではないので、ものごとを大まかに調べようとするのは、なかなか大変です。まずは百科事典という方法もありますが、この事典を使ってみるのはいかがでしょうか。タイトルから見当をつけて調べるのもよし、総索引を使ってまとめて調べるのも良いでしょう。総索引には掲載巻・ページが載っています。項目見出しになっているものは太字で記され、別表記や別名、類語や関係キーワードがあるかも分かります。

使ってみました ⇒ 「貴族」を調べる

総索引をひくと、単純に「貴族」以外に(中国の)(日本の)(ヨーロッパの)とある。また関係キーワードに「騎士」があることが分かる。貴族(日本の)を見ると、第8巻137ページと第10巻の143ページに、項目見出しがあり、これ以外にも記述があるページが複数あることが分かる。



総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号	タイトルコード
人文	フンボルトの冒険： 自然という<生命の網>の発明	アト・レア・カフ／著 鍛原 多恵子／訳	NHK 出版	289/73	1000001557278
	マティスとルオー 友情の手紙	アソ・マリス／[著] ゾルゲ・ユル・カフ／[著]	みすず書房	723.35/マ	1000001553173
社会	復元白沢図： 古代中国の妖怪と辟邪文化	佐々木 聡／著	白澤社	388.22/サ	1000001554592
	汽船の時代と航路案内	松浦 章／著	清文堂出版	683.2/マ	1000001553205
自然	小鳥飛翔の科学	野上 宏／著	築地書館	488.1/ノ	1000001557272
	点心振舞	河田 三朗／著	柴田書店	596.21/カ	1000001554483



今月の展示 ～総合図書館2階 展示図書のご案内～

毎月4つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

＜人文科学＞

仏教美術

＜社会科学＞ **長く愛される企業・商店街**

＜自然科学＞

看護

＜国際＞

タイ